

動脈硬化健診に参加された皆様へ

和歌山県立医科大学保健看護学部では、以下の疫学研究を実施しています。ここにご説明するのは、かつらぎ町、みなべ町、高野町で実施された動脈硬化健診を受診された皆様の検査結果やアンケート調査の情報を利用して解析を行う疫学研究です。この研究は、和歌山県立医科大学の倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して行う研究ですので、動脈硬化健診を受診されている皆様に新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

動脈硬化健診を受診されている皆様には、研究の趣旨や方法をご説明し、検査結果やアンケート調査の情報を、生活習慣病の有効な予防法を明らかにするための研究に利用させていただくことについて同意をいただいているところですが、この研究に対してご自身の情報が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

地域住民におけるサルコペニアと食品及び栄養摂取状況との関連に関する観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学保健看護学部 教授 宮井信行

3. 研究の目的

加齢とともに筋肉や筋力が減少して身体機能が著しく低下する状態をサルコペニアといいます。この研究では、普段の食生活における食品や栄養素の摂取状況がサルコペニアに及ぼす影響を詳細に分析したいと考えています。これによってサルコペニアのリスクを軽減するために必要な食品及び栄養素の種類と摂取量を明かにできる可能性があり、予防対策への貢献が期待されます。

4. 研究の概要

(1) 研究の対象となる方

かつらぎ町は2018年と2019年、みなべ町は2018年と2020年、高野町は2020年の動脈硬化健診において筋肉量と筋力の測定を実施された方のデータが分析対象となります。

(2) 利用させていただく情報

この研究で利用させていただくのは、動脈硬化健診の検査項目（身体測定、内臓脂肪量、筋肉量、握力・脚筋力、血液生化学検査、呼吸機能検査）、アンケート調査項目（性別、年齢、病気の治療歴と服薬状況、喫煙、飲酒、身体活動量、食物摂取状況）の情報になります。

(3) 研究方法

健診を受診された方の一人ひとりから得られた食品及び栄養摂取に関する情報と筋肉量や筋力の測定結果の相互関係について、喫煙、飲酒、身体活動量などのその他の関連要因の影響を考慮しながら統計学的に解析します。

5. 個人情報の取扱い

この研究に利用するデータからは、個人を特定できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

このような疫学研究は、医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、ご自身の情報が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、令和3年(2021年)3月31日までに下記にご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも不利益を被ることは一切ありません。

7. 研究組織

研究責任者 和歌山県立医科大学保健看護学部 教授 宮井信行
分担研究者 和歌山県立医科大学 名誉教授 有田幹雄
〃 和歌山県立医科大学保健看護学部 教授 上松右二
〃 和歌山県立医科大学大学院保健看護学研究科 大学院生 阿部香織

8. 問い合わせ先

和歌山市和歌山市三葛 580 番地
和歌山県立医科大学保健看護学部 宮井信行
TEL : 073-446-6700 FAX : 073-446-6720
E-mail : miyain@wakayama-med.ac.jp